

礼文の森から

宗谷森林管理署
礼文森林事務所

礼文島の皆さん、こんにちは！
礼文森林事務所です。暖かい日が続いて雪解けも一気に進んでいます。皆様いかがお過ごしでしょうか。待ちに待った春はもうすぐですね！

さて、前号で国有林内において行った大雨災害からの復旧工事2件を紹介しましたが、残りの2つも3月上旬に完成したことからご紹介します。

津軽地区

多量の土砂と泥水が道道まで流出した津軽川(石動川)及び竹岡川(津軽川)において、渓床に残った不安定な土砂が今後流出するのを防ぐために、床固工を各河川に2基ずつ設置する工事を行いました。



↑完成した津軽川1号鋼製組立網床固工

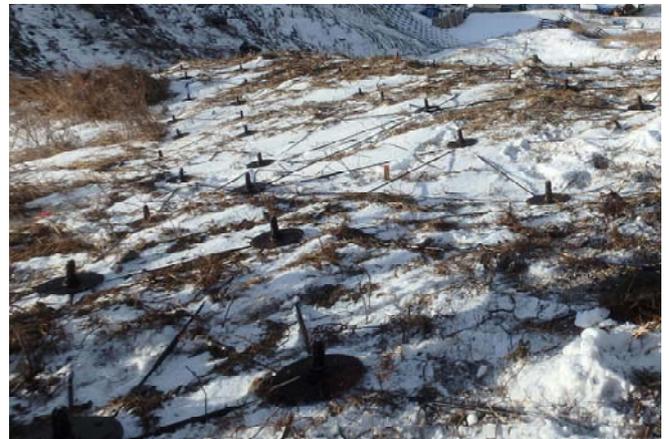
コンクリートではなく鋼製組立網を採用し、中に割栗石(わりぐりいし)を詰めています。これによりコンクリートに比べると景観になじみやすい構造物となります。床固工は背面を土砂で埋め戻すことで、土砂を固定し移動を抑制するとともに、渓床の勾配を安定させて土砂が流下するのを防ぎます。工事終了後、周囲の土が安定するまでは雨などで水に濁りが入る可能性があります。

元地浜中

元地浜中地区において、土砂流出が起きた箇所への植生マット敷設及びアンカー(鉄杭)による斜面の崩壊防止の工事を行いました。



↑工事箇所全景
黒い点はアンカー挿入箇所です。



↑拡大図(斜面上から撮影)
出っ張っているのがアンカー。自然公園の特別保護地区であることから茶色く塗装してあります。

アンカー(鉄杭)を地面に挿入後、アンカー同士を鋼棒と呼ばれる棒で連結し、斜面の土壌を押さえています。アンカーの箇所以外は掘削等を行わないことから、植生の早期回復が見込めます。植生が出てくるこれからの時期は景観に溶け込み、あまり目立たなくなってきます。

※施設周辺は急斜面や流水等があり危険が多い箇所ですので、近づいたり登ったりしないようご注意願います！